

令和3年度 第2回 安曇野暮らし支援協議会 会議概要

- 1 審議会名.....令和3年度...第2回 安曇野暮らし支援協議会...
- 2 日 時.....令和3年10月6日 午後1時30分から午後3時まで...
- 3 会 場.....安曇野市役所...3階...会議室301...
- 4 出席者.....横田会長、北林副会長、安谷屋委員、浅川委員、中嶋委員、  
宮崎委員、松本委員、高山委員、宮澤委員...
- 5 市側出席者.....丸山政策経営課長、大月政策経営課長補佐、柳澤企画担当主査...
- 6 公開・非公開の別.....公開...
- 7 傍聴人 0人.....記者 0人.....
- 8 会議概要作成年月日.....令和3年10月6日.....

協 議 事 項 等

[次 第]

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 会議事項
  - (1) 事業等の実施状況について
  - (2) これから実施する事業について《今後の予定》
  - (3) 各団体の取り組みについて
  - (4) その他
- 4 閉 会

[会議概要]

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ  
他自治体では移住定住に向けた動き活発なところが見受けられる。コロナも小康状態となっており、当協議会でも移住・定住に向けた取り組みを活発化させる必要があると感じている。
- 3 会議事項
  - (1) 事業等の実施状況について
    - ・ 事務局、松本地域振興局が資料に沿って説明。  
(意見等なし)
  - (2) これから実施する事業について《今後の予定》
    - ・ コロナが小康状態となり、出張セミナーの再開を検討したい。ふるさと回帰センターの利用を考えており、候補日が2日ある。最終決定は12月以降としたい。コロナの状況次第で現地のみ集まってもらうハイブリッド方式、または完全オンラインも視野に入れたい。

- ・ セミナー自体は人気だが、移住に至る率は高くない。体験ツアーの移住に至る率は高いため、体験ツアーを重視した方がよい。現地の魅力は他では聞けない生々しい声を聞けるというのが人気の理由である。コロナ禍で実施するにあたり、人数を減らす等どう対応するかを決定したい。現地セミナーなどは、オンラインセミナーで代替できると考えられる。
  - ・ セミナーはオンラインでもよい。現地セミナーは開催後どうつなげるかが課題である。また、現地では自治体が用意するおみやげ目当ての人も一定数存在している。
  - ・ 安曇野体験ツアーの再開も検討したい。実施する場合、時間的に余裕がないので2月下旬～3月上旬頃と考えている。ツアーを主催する観光協会としてどうか。  
⇒ツアー自体は開催できると思われる。以前のツアー内容は、協議会内で決定し、移住者の方のお宅を訪れてお話を聞くというものがあったが、今までと同様に開催することは難しいのでは、と考えられる。
  - ・ 体験ツアーの参加者は今までは20人程度だが、人数を減らして対応してじっくり対応するというのが1つの手段。10名程度であれば抵抗は少ないと思われる。
  - ・ コロナの影響もあるため人数を絞る方向で行うという意見が多いため、その方向で検討したい。周知はどうか。
  - ・ オンラインセミナーを体験ツアーの周知機会の1つとしたい。その他事務局が把握している移住希望者のリストから周知を図ればよいのでは。
  - ・ ハイブリッドセミナーは対象が大都市のみになるため、完全オンラインの方がよいと思われる。ツアーの周知についても、全国を対象にしたほうがよい。
  - ・ 声をかけるリストは、移住希望者登録者、空き家バンク登録者がある。ふるさと回帰センターのリストは、センターを利用しなければ利用は難しいのでは。
  - ・ ツアーの内容について、案があれば伺いたい。  
⇒概要紹介程度では意味がないので、移住の一般的なステップ紹介より一歩進んだ内容にしたい。
  - ・ サイトを改修したが、アクセス数等の解析は行っているか。  
⇒解析はしているが、この場にデータはない。  
⇒直帰率は大幅に改善している。アクセス数も増加傾向にある。  
⇒次回、サイト管理をお願いしているJOHOさんと調整してお示ししたい。
  - ・ オンライン高校生ワークショップの概要について  
市で行うことになるが、事前にご承知おき願いたい。グラフのとおり、当市の県外転出入は大幅なマイナスであり、進学等で転出した層が戻ってきていない。  
移住の対象となるターゲットの1つに若年層を据え、高校生の声から市に対するイメージ、課題等を把握し、移住施策の方針に生かすことを予定している。  
(意見等なし)
- (3) 各団体の取り組みについて
- ・ 市、松本地域振興局、建築士会、ハローワーク松本により、資料に沿って説明
  - ・ 【観光協会】観光交流人口(=観光目的でない人も含む、出張など、地域にお金を落としてくれる可能性がある人)の増加を目指している。  
SNS、特にインスタに力を入れている。毎日2回投稿を行っていたところ、2.1万人ほどのフォロワーを達成、県内1位のフォロワー数となっている。

- ・ 【ふるさと応援団】安曇野さんぽ、ふるさとウォッチング（ガイド付きウォーキング）を実施している。人数を絞って行っているが、毎回定員に近い応募がある。最近は特に人気が高まっている。各団体の実施イベントを新 HP に掲載してもらえれば。
- ・ 【商工会】毎年移住を兼ねて起業したいという方は一定数いる。冬から春にかけて多く、穂高エリアが人気だが、今年はそのような問い合わせがない状態。
- ・ 安曇野の食を通してファンを増やす取り組み（新そば感謝祭、夏野菜カレー等）を行っているが、コロナ禍でイベントが打てない状態。現状、安曇野の食に関するスタンプラリーのみできている状態。
- ・ 【宅建協会】コロナ禍で活動自体がストップしている。もう少し実績を積み上げたい。うえでお示ししたい。
- ・ 話を振っていただいたので、急遽商工会と宅建協会の2委員にも取り組み発表を行っていただいたが、本来は次回の協議会で行う予定であった。今回発表していない情報があれば、次回発表していただくこととする。

#### （４）その他 （会長）

協議会のあり方について、組織の方向性を変えていくべき部分があると感じる。例えば、委員として関わっているが表面的な関わりにとどまっているなど。今後、より協議会として移住・定住について効率的・有機的に機能していくためにも、組織のあり方について意見等頂戴したい。

- ・ 政策経営課の持っている情報だけでなく、各団体の行っている活動・持っている情報を、協議会として積極的に情報提供していければと考える。活動としては、来てもらうこと（＝体験を重視した活動）を重視していければ。
- ・ 当協議会に団体だけでなく、個人の方に入っていただくことはどうか。そのような方に参加していただければより盛り上がった議論ができるのではないかな。
- ・ 今回、会長より組織の根幹にかかわるお話を提案いただいた。今回出た意見を参考にしつつ、今後も議論を深めていくこととしたい。次回以降、会長と調整してたたき台を提示させていただく方針で進めさせていただく。
- ・ 次回の開催日について、11月の末頃を目安に調整させていただく。

#### 4 閉 会

以上